

名作文庫通信

2025年春号

新刊ご案内



『雨月物語』

上田秋成／著 円城塔／訳 河出文庫／刊

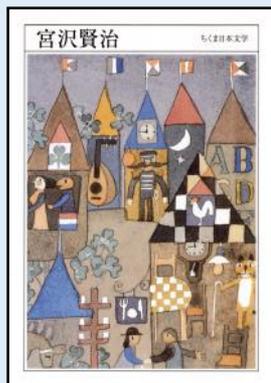
崇徳院の霊に西行法師が出遭う「白峰」、7年を経て妻の元に帰る「浅茅が宿」…。中国の小説や日本の古典を自在に翻案し、技巧の粋をつくした上田秋成による怪異奇談の傑作を、円城塔が精緻で流麗な現代語に訳した怪異小説集。「TRC MARC」より

ちくま日本文学 文庫版

003 宮沢賢治

宮沢賢治／著 筑摩書房／刊

草トランク／毒もみのすきな署長さん／風の又三郎／気のいい火山弾／茨海小学校／セロ弾きのゴーシュ／どんぐりと山猫／鹿踊りのはじまり／注文の多い料理店／蜘蛛となめくじと狸／猫の事務所／オツベルと象／饑餓陣営／よだかの星／二十六夜／やまなし／グスコブドリの伝記 他



宮沢賢治（みやざわ けんじ）1896-1933

岩手県花巻市生まれ。農業や教育に携わりつつ創作活動を行い、短歌、童話、詩、俳句、戯曲など、たくさんの作品を残した。

幼いころから病弱で入院や療養を繰り返し、最期は家族に見守られ37歳で生涯を閉じた。

生前は無名で、生涯で出版したのは「春と修羅」「注文の多い料理店」の2冊のみ。没後にその才能が再評価され、日本文学において重要な作家となった。

作品は東北地方を舞台に自然豊かに描かれ、科学や宗教、芸術を融合した独自の世界観を築いた。

ステージへようこそ

オペラやミュージカルの華やかなステージを、想像しながら読んでみて下さい。物語の印象が変わり、登場人物が生き生きとしてくるかもしれませんよ。

あしながおじさん

ジーン・ウェブスター／著 岩本正恵／訳

新潮文庫／刊

名を名乗らない裕福な紳士が、孤児のジュディに奨学金を出して大学に通わせてくれることに。条件は、毎月、手紙を書いて送ること。ジュディは謎の紳士を「あしながおじさん」と呼び、ユーモアあふれる手紙を書き続け…。「TRC MARC」より



紅はこべ

パロネス・オルツィ／著 坏香織／訳

創元推理文庫／刊

1789年フランス革命が勃発すると、貴族が次々とギロチン台の餌食となっていった。窮地に陥った彼らに救いの手を差し伸べたのが、謎の集団<紅はこべ>。その痛快無比な活躍を描く歴史活劇。 「TRC MARC」より





季刊「名作文庫通信」
3・6・9・12月発行

杉並区立下井草図書館
杉並区下井草3-26-5
電話:03-3396-7999